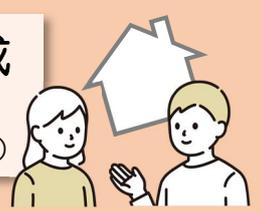


# 既習事項を活用して建設的に学ぶことができる生徒の育成

—リフレクション・ワークシートの活用と協働学習を通して—

特別研修員 工業 福島 正樹（高等学校教諭）



## 目指す生徒像

### 建設的に学ぶ生徒

- ・自らの考えや既習事項を用いて協働して課題に対応することができる生徒
- ・他者との対話活動から得た多様な意見を積み重ね考えを深め表現できる生徒

## 振り返り

RWSを用いて考えの深化や変容を振り返る

振り返り

<p>「第6節 小屋組」のはじまりに</p> <p>小屋組（屋根）について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨風を防ぐもの</li> <li>・直射日光を防ぐ</li> </ul>	<p>「第6節 小屋組」のおわりに</p> <p>小屋組（屋根）について考えてみよう</p> <p>軸組をやった時に、「一斉工夫や計算ミス」と思っていたが、小屋組も気候や地域によって屋根の形に違いがあった。経費を無駄にしないように、余分な小屋束をはずしたり丈夫にするための材料を太くしたり、現実的な太さを選んだ。考えることが多くなった。</p> <p>和小屋と洋小屋で名前に変化があった。つくりや長所の違いを知り、自由さがあって楽しいと思えた。その場合の形や強度の屋根を考えたのが出来るように頑張ろうと思えた。</p>
--	---

単元全体の振り返りから見取る考えの深化や変容の例

## 個別学習2

再び一人で課題に向き合い自分の答えを出す



どの場面で考えが深まったり変わったりしましたか

- ・他と意見がぶつかり対立することにより改良したい意見が深まっていた。
- ・どちらにもメリットデメリットがあると物事を整理して考えたことになった。

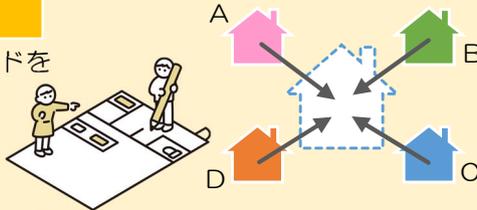
本時の振り返りから見取る「建設的な学び」の例

## 手立て2 対話により意見を積み重ねる協働学習



### クロス学習

異なるフィールドを交えて意見交換

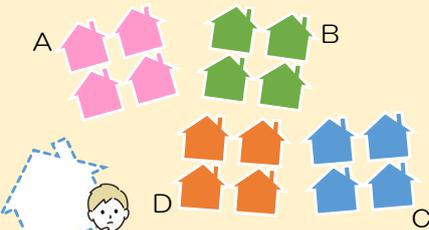


RWSを活用したクロス学習の様子



### フィールド学習

同じフィールドで意見・情報交換



RWSを活用したフィールド学習の様子



### 個別学習1

- ①一人で課題に向き合う
- ②担当するフィールド（専門領域）を決め、その視点で考える

※四つのフィールド A軸組構造 B軸組意匠 C小屋組構造 D小屋組意匠



【本時の課題】「小屋組」の特徴を踏まえ、身近な二つの建物をつなぐ外通路への屋根設置案を検討しよう。

## 手立て1 リフレクション・ワークシート（RWS）の活用

- ①一枚の用紙にその単元の学習履歴を記録できる
  - ②学習者自身がその単元の学びを自己評価できる
- 一枚で学びの可視化と振り返り



RWSを確認する様子

## 生徒の実態

- △ 課題を自分事として捉えられず、受け身の生徒が見受けられる
- ◎ 体験的な学習には意欲的に取り組む



## 教師の願い

- 当事者意識をもち、意欲的に課題に取り組んでほしい
- 他者と協働して課題を解決する力を身に付けてほしい



## 成果

- RWSの活用は、見通しをもった学習への取組と振り返りを行うことで、その単元の自らの学びを俯瞰させることができた。
- 協働学習は、他者との意見交換により自らの学びの調整を行っている様子を見取ることができ、当事者意識や建設的に学ぶ力を高めることができたと考えられる。

## 課題

- 個別学習で取り組んだ課題や振り返りをクラス全体で共有できる工夫が必要である。

展開

導入

前時までの学習